

令和 8 年度

前期日程

地理歴史問題

〔注意〕

1. 歴史総合・日本史探究問題, 歴史総合・世界史探究問題, 地理総合・地理探究問題の三つの中から一つを選んで解答すること。
2. 問題冊子及び解答用冊子は, 試験開始の合図があるまで開いてはいけない。
3. 問題冊子は, 表紙を除き 1 ページから 17 ページまでである。14 ページ以下は, 下書き用紙である。脱落している場合は直ちに申し出ること。
4. 解答用冊子には, 解答用紙 7 枚と白紙 1 枚が折り込まれている。解答用紙をミシン目に従って切り離し, 受験番号を, 選んだ問題に対応する解答用紙の受験番号欄(1 枚につき 2 か所)に, 正確に記入すること。
5. 解答は, 解答用紙の指定されたところに記入すること。枠からはみ出してはいけない。
6. 問題冊子の下書き用紙のほか, 問題冊子の余白も下書きに使用してよい。
7. 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
8. 問題冊子及び白紙は持ち帰ること。

I 歴史総合・日本史探究問題

- (I) 弥生文化における生業や技術の特徴について、縄文文化、ならびに弥生文化と同時期の北海道や南西諸島の文化と対比し、成立と普及の過程を含めて具体的に述べなさい(200字程度)。
- (II) 院政期の荘園設立は、12世紀の鳥羽院政期にピークを迎えた。この時期に設立された荘園の特徴について、その成り立ちや支配のあり方に注意しながら、具体的に述べなさい(200字程度)。
- (III) 徳川綱吉の将軍在職中に行われた貨幣の改鑄について、政策の内容を具体的に述べなさい。その際、そのような政策を要した背景にふれるとともに、貨幣の改鑄の結果についても述べなさい(200字程度)。
- (IV) オスマン帝国はヨーロッパ諸国に対してカピチュレーションと呼ばれる恩恵的特権を与えて貿易を行った。しかし、18世紀以降、ヨーロッパとの貿易関係が逆転し、カピチュレーションはヨーロッパ諸国による中東侵略の有効な手段に変わった。類似の関係が、江戸幕府と欧米諸国とのあいだにおいてどのように現れ、またその後撤廃に至ったのか、具体的に述べなさい(200字程度)。

Ⅱ 歴史総合・世界史探究問題

(I) 人類の歴史は自然環境の変化に大きな影響を受けると同時に、自然環境に働きかけることによって展開してきた。世界史の大きな転換点となる技術変革に関連する次の問い(問1～問2)に答えなさい。

問1 約1万年前に氷期が終了し、気候が温暖化したことにより人類がおこした技術変革と、それが人類社会に与えた影響について説明しなさい(150字程度)。

問2 中国の春秋時代から戦国時代に及ぶ社会や環境の変化に対して、鉄器が与えた影響を説明しなさい(150字程度)。

(II) 9～16世紀において人間の移動が世界の文化や社会に与えた影響に関して、次の問い(問1～問3)に答えなさい。

問1 9～12世紀のノルマン人の活動が世界の諸地域に与えた影響について、具体的な地域名を挙げつつ説明しなさい(150字程度)。

問2 12世紀のヨーロッパでは地中海での人の移動を背景に、文化復興の運動が生じた。この運動の内容を述べ、それがヨーロッパの学問に与えた影響を説明しなさい(150字程度)。

問3 1492年は、イベリア半島ではナスル朝のグラナダが陥落しレコンキスタが完成した年であるとともに、ユダヤ教徒に対して追放令が出された年でもあった。イベリア半島から追放されたユダヤ教徒はイスタンブルに多く移住したとされるが、そこでどのような扱いを受け、どのような活動を展開したか、説明しなさい(70字程度)。

Ⅳ 次の資料1は、スペイン植民地時代のメキシコでキリスト教を布教していた宣教師ヘロニモ＝デ＝メンディエタが1596年に著した『インディアス教会史』の一部である。また、資料2は、ヴァン＝ディーメンズ＝ランド植民地(現オーストラリアのタスマニア州)総督のジョージ＝アーサーが、1828～30年頃、植民者と先住民の望ましい関係を先住民に伝えるために絵画で発した布告である。これらを参照して、下の問い(問1～問4)に答えなさい。

著作権処理中のため、公開できません。

資料 2

著作権処理中のため、公開できません。

問 1 資料 1 の「植民者たち」が、植民地を経営していた制度を何と呼ぶか、答えなさい。

問 2 問 1 の制度と、その実態はいかなるものであったか。資料 1 の内容もふまえて説明しなさい(75 字程度)。

問 3 資料 2 の布告を発した総督の伝えようとしたことの説明として明らかに誤っているものを、次のア～エから一つ選んで解答欄に記号を記しなさい。

ア 植民者と先住民は、たがいに助け合い、共存をはかる。

イ 植民者と先住民は、たがいに握手を交わし、友好を深める。

ウ 植民者と先住民は、法を犯したら、等しく罰を受ける。

エ 植民者と先住民は、法を定め、施行する権限を等しく有する。

問 4 資料 1 と資料 2 は、ヨーロッパの植民地における先住民支配の特徴を示している。それはどのようなものであったか。問 1 ～問 3 の内容もふまえて説明しなさい(200 字程度)。

Ⅲ 地理総合・地理探究問題

(I) 東アジアとその周辺地域に関する以下の問い(問1～問3)に答えなさい。

問1 次ページの図1は、黄砂の発生源とされる地域を破線で囲んで示したものであり、図2は、日本で黄砂の飛来が観測された日数を月別に示したものである。これらに関する以下の問い((a)～(c))に答えなさい。

- (a) 図1中の破線の範囲の乾燥地の成因とその気候的特徴について、チリのアタカマ砂漠と比較して説明しなさい(50字程度)。
- (b) 黄砂の飛散量や頻度は20世紀後半に拡大したことが一部地域で観測されている。この拡大の背景にあると考えられる人間活動について説明しなさい(50字程度)。
- (c) 図2のように日本で黄砂が3～5月に集中して観測される理由について、説明しなさい(50字程度)。

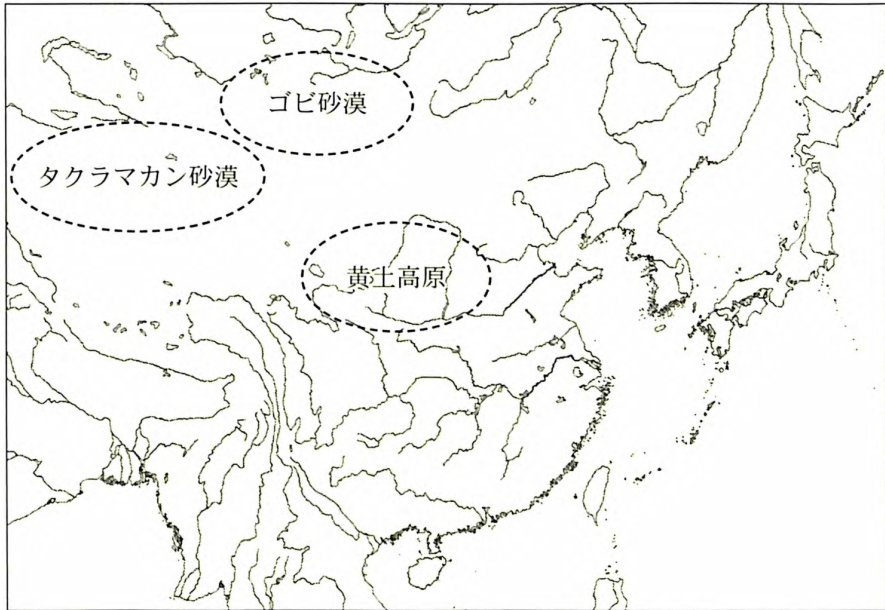


図 1

著作権処理中のため、公開できません。

図 2

問 2 次の図 3 は東アジアのいくつかの国における合計特殊出生率の推移を、世界平均と比して示したものであり、A～C は、日本、韓国、中国のいずれかである。これに関する以下の問い((a)～(b))に答えなさい。

著作権処理中のため、公開できません。

図 3

- (a) A～C に該当する国名をそれぞれ答えなさい。
- (b) 長期人口推移からみて、日本と韓国、中国ではともに近年、人口動態の新局面を迎えている。この変化について述べたうえで、それが各国の非大都市圏の地域に与える影響とその政策的対応について説明しなさい(150 字程度)。

問 3 次の図 4 は、中国に進出している日系企業の現地仕入れ額の推移を、仕入先別に示したものである。21 世紀以降の中国への日本の海外投資と産業立地の変化について、下の語句を必ず用い、具体例を挙げながら説明しなさい(150 字程度)。

著作権処理中のため、公開できません。

図 4

(Ⅱ) 日本や諸外国の地域変化に関する以下の問い(問1～問3)に答えなさい。

問1 次ページの図5は、1948年における、日本のある県庁所在都市の郊外を示した地形図(2万5千分の1、原寸、一部改変)であり、図6は同じ範囲の2025年の地理院地図である。これらに関する以下の問い(a)～(b)に答えなさい。

(a) 図6中の地点AとBの周辺は、それぞれ異なる時期に形成された住宅密集地である。それぞれの地点周辺について、その地形的特徴とそこに住宅密集地ができた自然条件上の理由について、図5を見ながら、地形名称を必ず用いて説明しなさい(100字程度)。

(b) 図6中の地点Cの住宅密集地は1970年代に形成されたものである。こうした地区が現在抱えている社会的な課題とその原因について、人口構成に注目して具体的に説明しなさい(50字程度)。

著作権処理中のため、公開できません。

図 5

著作権処理中のため、公開できません。

図 6

問 2 次の図 7 は、いくつかの年における日本の都道府県別の 1 人あたり所得について、全国平均を 100 として示したものである。これに関する以下の問い (a)~(c) に答えなさい。

著作権処理中のため、公開できません。

図 7

- (a) 1930年には、北海道や福岡県が全国平均よりも高い値を示している。この理由として、当時のこれらの道県に共通して考えられることを説明しなさい(50字程度)。
- (b) 図7中のXとYは、1960年と1980年のいずれかである。XとYに該当する年を述べたうえで、この間の大都市圏と非大都市圏の間の1人あたり所得の変化がなぜ生じたのかについて、製造業の立地に注目して説明しなさい(50字程度)。
- (c) 図7からは、2020年には東京一極集中が進んでいることが読み取れる。東京一極集中の原因について、下の語句を必ず用いて説明しなさい(100字程度)。

国際化 サービス経済化

問3 国内の地域間経済格差の程度や内容は、国土の位置や産業の配置、経済発展の歴史などによっても異なる。これらの点に留意しながら、メキシコにおける国内地域間経済格差とその背景について、下の語句を必ず用いて説明しなさい(100字程度)。

USMCA プライメイトシティ